

【提案】

児童・生徒数が減少していく中、教育効果を高めるため教育環境の整備と充実が求められます。複式学級が進んでいく今日、今後を見据えた行政施策をお聞かせください。

秋芳北部の観光拠点とそのアクセス整備について。堅田郵便局から弁天池へのアクセス、鋭角交差点の改良及び通学路である大日地区の道路拡幅をお願いしたい。また、県道銭屋美祢線(重安～江原)の改良拡幅についてもお願いしたい。

合併して4年経過したので、その節目として、市行政施策の実施に伴う住民のそれぞれの思いや、良くなった点、悪くなった点など住民意識調査を実施し、今後の施策の参考にされてはどうか。(男性)

【回答】

地元の誇り、文化等の伝承の場として、小・中学校を統廃合しないのか、子どもの競争意識を高め、能力向上につなげるために統廃合をするべきか、非常に重要で難しい課題であると考えます。

合併後しばらくの間は、地域の疲弊感が生じないように統廃合しない方向で進めてきましたが、今後、子どもの減少、またさまざまな問題に備えて慎重に検討し、対策を講じるため、既に様々な調査を行っています。

別府弁天池に向かう道は、解りづらく、また道幅も狭く、特に観光バス等大型車輛は離合しにくい状況にあることから、整備の必要性は感じているところですが、市の財政状況から、新設の市道改良には、用地取得や交差点の整備等々、多額な費用を要するために、現時点での整備は難しいと考えます。しかし、市では観光立市を掲げ、また世界ジオパークへの登録も目指していることから、今後の観光客等の動向等を踏まえて、必要性が増せば検討していきたいと考えます。

県道銭屋美祢線(重安～江原)の道路改良については、県道であるため市単独で整備できないので、県へ強く要望していきたいと考えます。また、大日地区の道路拡幅については、県道であります。計画的に実施している状況です。引き続き県へ要望していきたいと考えます。

住民意識アンケート調査については、まちづくりは市民あってのものであることから、平成22年の第一次総合計画策定に係る基礎資料として、平成20年度に市内3,000人を対象としてアンケートを行い、満足度調査を実施しています。この結果により、現在の総合計画において目標指標を設定し、各種事業を進めているところです。この第一次総合計画は、10年間のまちづくりを示した長期計画ですが、5年を中間点とし、前期分として総括を行うとともに、時代の実情に即したものとするため、後期5年の計画見直しを行うこととしています。この見直しの過程で、再度、意識調査を実施し、後期計画の材料としたいと考えます。従って前期の計画5年間で平成22年度から平成26年度にあたり、後期の5年間で平成27年度から平成31年度となることから、後期計画の見直しに際します平成25年度に意識調査を実施する予定となります。(市長)



問合せ先 地域情報課(☎0837(52)1128)

申込・問合せ先 教育総務課
(☎0837(52)5260)



鳳鳴小学校校舎

日時 3月16日(金)
10時30分から
会場 鳳鳴小学校
屋内運動場

4月1日をもって閉校になる鳳鳴小学校の閉校式を開催します。
参加を希望される人は、次の問合せ先までご連絡ください。

鳳鳴小学校の
閉校式を
開催します

まちかどホットライン

1/1

2012年初日の出登山

大田初日詣で歩け歩け大会



大田公民館では、1月1日に恒例行事として、新春初日詣で歩け歩け大会を開催しました。今年は、雨上がりの中、天候に不安がありました

が、早朝より33人の参加がありました。

6時に美東体育館前に集合し、高倉荒神・大田八幡宮・金麗社の三社参りをして、一年の平穏無事を祈願した後、中山山頂へ向かいました。

山頂では、残念ながらご来光を拝むことは出来ませんでしたが、全員で市民憲章を唱和し、初笑い、雑煮会、福引きを行い参加者相互の親睦と、親子のふれあいが深められました。

新春雁飛登山大会



昨年は、悪天候のため中止となりましたが、今年は、何とか開催することができました。

約30人の参加者は、夜中の雨で足もとが悪く暗い中、懐

中電灯などの明かりを頼りに山頂を目指していきました。あいにくの曇り空で、日の出は見えませんでした。登頂した達成感をかみしめ、鍋やしるこで冷え切った体を温めました。山頂で万歳をすると麓で待機していた人にも聞こえ驚かされていました。

参加者は、来年も登山が出来ることを願っていました。

第4回新春市民歩け歩け大会(桜山コース)



早朝5時30分に市内3か所から一斉に桜山山頂を目指して「歩け歩け大会」がスタートしました。

昨年まで積雪等により中止が続き、合併後初めての開催となり

ましたが、一般参加者、役員合わせて約110人が一緒に新年を祝いました。

前夜からの雨はあがったものの、厚い雲が空を覆いせつかくの初日の出は拝めませんでした。山頂新春行事では新年のあいさつのおと、記念撮影や体力づくり初体操を行い、伊佐婦人会に調理して頂いた雑煮を食べながら、たき火を囲んで年始め交歓会を盛大に行い、楽しい一時を過ごしました。

初日詣で城山登山



真長田公民館では悪天候で中止となっていた初日詣で城山登山を3年ぶりに行いました。

元旦、6時30

分に城山の麓に約40人が集まり、天候が危ぶまれるなか標高297メートルの頂上を黙々と目指しました。

山頂では曇のためご来光は拝めませんでした。日の出時刻の7時38分に初日の出の上る方向を眺めながら美東町真長田地域の区長会長から新年のあいさつがあり、その後、子ども会役員による雑煮の振る舞いと福引を行いました。

参加者は、来年こそは初日の出を拝めることを祈っていました。

第3回新春たこあげ大会

1/7



会場の秋吉台家族旅行村には、小学生を中心に約60人の参加者が集まりました。市内から指導者1名を迎えて、竹ひごや紙などの材料を使った長方形の角だこの作り方を習い、早くできた人から絵や文字のデザインをしていました。

子ども会のジュニアリーダーが進行役やたこ作りのサポート役を務め、レクリエーションを織り交ぜながら楽しく活動を進めました。旅行村からぜんざいや焼き芋のサービスがあり、子ども会研修部が準備した昼食のカレーとともにおいしくいただきました。

午後からは雨も上がり、二つのグループに分かれてたこあげ競争を

行いました。閉会式では、『デザイン賞』や『よくあがったで賞』の表彰がありました。